

会議録

- 1 **会議の名称** 子ども・子育て会議 令和3年度第2回会議
- 2 **開催日時** 令和3年11月26日（金）午後6時から
- 3 **開催場所** 熊取ふれあいセンター4階 研修室
- 4 **議題** 案件①（仮称）子ども基本条例に係る答申（案）について
案件②その他
- 5 **公開・非公開の別** 公開
- 6 **傍聴者数** 0人

7 審議等の概要

（開会）

事務局より

- ・委員24名のうち19名の出席につき、会議は成立
- ・変更委員の紹介
- ・条例検討部会に参加した3名のオブザーバーの紹介

（会長による議事進行）

【会長】

案件①（仮称）子ども基本条例に係る答申（案）について、令和2年1月31日に熊取町から子ども・子育て会議に対して、条例に定めるべき基本的な内容について諮問され、当会議内の副会長をはじめとした8名の部会員に就任いただき、3人のオブザーバーの参加も含めた合計11人の条例検討部会での審議を経て、今回の答申（案）を取りまとめた。

今日は条例検討部会に参加していただいたオブザーバーの方々にも、是非お話しを伺いたいと考えています。

【副会長】

本答申（案）のとりまとめまでの経過ですが、熊取町長から諮問を受けてから、中学生

と小学生にアンケート調査を行い子どもたちの思いを聞き、それを受け止め計4回の条例検討部会を開催して、子どもたちの最善の利益をみんなで考えながら、この条例づくりに取り組んだ。

委員のみなさんからは、それぞれの立場から多くの貴重な思いや意見、オブザーバーのみなさんからは、子どもに近い立場から子ども側の率直な思いや意見をいただき、それらを議論して本答申（案）をとりまとめ、子どもと大人の対話も入った熊取町らしい良い案になったと思う。

【事務局】

資料に沿って答申（案）の説明

【会長】

条例検討部会での感想などをオブザーバーのみなさんお願いします。

【オブザーバー】

一緒に会議に参加したみなさんは本当に子どものことを大事に思っていて、話しをちゃんと聞いてくれて、ああそうなんだと理解してくれて暖かいと感じた。子どもを大切にしていけるのは、子どもに一番近い保護者だけじゃなくて、まわりにいる町民の人たちとか全員で子どもたちを大切にしていかなきゃいけないと思った。

【オブザーバー】

大人と一緒に会議をやって、大人が困るほど考えている姿とかを見て、自分の子どもの頃とか、子どものことを考えてくれている大人がいたんだなと感じて嬉しかった。

【オブザーバー】

今は子ども目線で意見を言っていたが、これから大人になることを考えた時に、ここで決められたことを自分が大人になった時に、子どもに権利を保障できる大人になりたいと思った。

【会長】

子どもの代表的な権利でオブザーバーのみなさんが欲しかった権利があれば、あげてください。

【オブザーバー】

なかったから欲しかったということはあまりないが、有って良かったのは安心できる居場所があることと、仲間を作って活動できること。

【オブザーバー】

全部欲しいけど、特に欲しいのは安心できる場所があることと、自分の意見や考えを自由に表明出来ることで、権利侵害から守られることのところで、権利侵害とはっきり言ってくれているのがよかった。

【オブザーバー】

これが欲しかったというのはあまりない。よかったと思うことは、愛情をもって心身ともに健やかに育てられることと、自分の考えを自由に表現できることで、中学校の授業ではグループで話し合うことが多く、自分の考えの表現は大人になっても役立った。

【委員】

前文のSDGsの箇所に持続可能な開発目標と入れた方が、住民に対しても分かりやすいと思う。

【委員】

条例文自体を子どもたちが理解することは難しいかもしれないが、条例のとおりに分かちが過ごしているかは理解できると思う。大人たちだけでなく、子どもたち同士でも見守りをしたり、いろいろな人みんなが関わってくれたらいいなと思う。条例自体とても良いと感じたので制定後が大事と思う。

【会長】

実効性をこの会議でもおそらく点検していくことになる。子どもに分かりやすくする方法とかあればお願いします。

【委員】

条文そのままは難しいと思うが、その子どもなりに理解できるよう、大人が噛み砕いて、実際の生活の場面で具体的に話していく積み上げが大事。高学年になってこんなふうを守られていたことに気付くし、子どもが成長して深いところを読み取ってもらえることが楽しみ。

【委員】

3人のオブザーバーさんが参加してあたたかい会議だった。学校や地域の色々な立場の人たちが頭を悩ませた。オブザーバーさんが参加した場に意味があって、不登校や不良であっても、それを肯定できるようなことを盛り込めないかという意見があったとき、大人たちだけでは出てこなかったと感じた。そういった意見が、子どもの権利は何か責任と引き換えでないという精神につながったのではないかと思う。事務局も誠実に対応してくれた。

【会長】

条例の庁内検討会議の5人の熊取町の課長さんがこられてますが、経験とか今日の議論を聞いてなにか、業務的な発言でなく一人の大人としてなにかありませんか。

【庁内検討会議委員】

庁内検討会議に計4回参加させていただきましたが、条例検討部会のみなさんが検討された内容を踏まえまして、こういったことを盛り込んだ方が良いのではないかと忌憚のない意見を5名の課長で出させていただきました。子どもに携わって行くものとして、条例が出来た時には小さい頃から熊取町にはこういったことがあるんだよということを伝えていきたい。

【庁内検討会議委員】

世の中で起こっている色々な問題を一当事者として考えた時に、子どもに伝えていることが正しいのかなと日々学びながら、子どもと関わらなければならないという感覚を持っている。多くの住民さんや大人の方々が、本町の子どもたちのことを本当に心から考えていただいて、しっかりと時間をかけてご議論頂いたこの過程が、非常にありがたいと感じている。

【委員】

もれおちる子どもたちが無いような、熊取町の施策が欲しいと思う。

【会長】

こういう議論に沢山の若者が参加してもらえるまちになってほしい。

【委員】

熊取町らしく非常に丁寧な作り方をされていると思う。条例が出来たら終わりではなく、どう実効性のあるものにしていくか、大人たちが意識していくことが大事と思う。住民の方にどうやって伝えるかが非常に大事で、子ども・子育て支援計画の法的な根拠になる。権利だけでなく子どもの総合的な条例ということを広報して行くことが大事と思う。

【委員】

いかに具体化していくかが大事で、例えばいじめられている子どもがいたとして、先生や親にも言えない、そんな子どもたちが居場所、助けを求める場所をつくることが大事と思う。子どもの事件など、誰かが気付いて、友達が気付いて助けを求める場所があれば防げたかなと思います。例えばスマホに対する研修会など、そういった取組みをしてもらえたらと思う。

【委員】

沢山の大人が子どものことをすごく考えているのだなと思った。私が熊取町で子育てすると決めたのは、子育てに手厚く、子育てするのに良いまちと聞いて来たのだが、やはり熊取町で子育てをはじめて良かったと思った。帰って子どもたちとちゃんと話しをしたい。

【会長】

この内容をもって答申として異議なければ、12月1日に町長に答申するのでお渡ししたいと思う。

来年度の会議であたらしい条例の視点で評価する事になると思う。

【事務局】

今後は、町に答申いただいてから、町からパブリックコメントをさせていただき、3月議会に上程し4月から施行したいと考えている。

| | | |
|-----------------|--------|--|
| 8 審議会の情報 | 名称 | 子ども・子育て会議 |
| | 根拠法令等 | 子ども・子育て支援法 |
| | 設置期間 | 平成25年10月1日～ |
| | 所掌事項 | 子ども・子育て支援事業計画の策定及び実施状況等に関すること。 その他子ども・子育て支援事業の推進に関すること。 |
| | 委員数 | 24人 |
| 9 担当課 | 子育て支援課 | |